

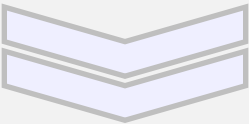
① 共生・福祉・健康分野

目指すべき未来像

誰もが社会とのつながりと居場所があると感じられる地域の中で、安心して心身ともに健やかに暮らすことができるまち

現状と課題

- ・人口減少や高齢化、価値観や暮らし方の多様化により、社会環境は大きく変化しています。地域では、人と人とのつながりの希薄化や地域団体等の担い手不足が進み、支え合いの仕組みが弱まりつつあります。
- ・性別、国籍、障がいの有無といった多様性に関する理解の浸透が十分でない場合、お互いの背景や価値観の違いを十分に理解できず、不安や戸惑いを感じてしまう場合があります。さらに、福祉に関する困りごとは複雑化・複合化し、従来の対応では十分に応えられない状況が生じています。
- ・健康・医療においては、生活習慣の変化によって、様々な健康課題が顕在化する中、健康寿命の延伸に向けた取組が必要となります。また、高齢化等に伴う医療需要の増加への対応や、災害や感染症への備え等も含め、地域の実情に合った医療提供体制を整えることが求められています。



【課題解決のための具体的な取組】

「自治会等行政連絡事務システム」の構築

★取組概要

市と自治会・町内会との間の連絡や各種手続を一元化・簡素化するシステムを導入し、事務の効率化を進めることで、役員等の活動負担が軽減され、新たな担い手が参加しやすくなる。



スマートフォンを使った申請手続

出産等を機に離職した女性に対する再就労の支援

★取組概要

出産等を機に離職した女性を対象に、デジタルスキルの習得から就労までを一貫して支援することで、テレワークや時短勤務等の多様な働き方による再就職や所得向上が図られる。



オンライン講座



企業との交流会

多文化共生総合相談センターを通じた外国人住民と日本人住民の支援

★取組概要

日本語だけでなく多言語での情報提供や相談支援を行うセンターを設置運営し、外国人住民の生活課題の解消や日本人住民の不安の解消を図ることで、相互理解が促進される。



相談窓口

生きづらさを抱える方のための居場所の整備

★取組概要

メンタル不調や社会的孤立などにより生きづらさを抱える方が、気軽に利用できるオンラインと対面の居場所を整備することで、心身の回復を支え、必要に応じて専門的な支援につなげ、孤立の予防や課題の深刻化を防ぐ。



オンライン居場所交流イメージ

成果連動型民間委託契約方式(PFS)による新たな就労支援制度の推進

★取組概要

様々な理由で働きたいが就労に結びついていない市民について、就労相談や人手不足の企業とのマッチング等を行うことで、持続可能な就労体制を構築し、就労を通じた社会とのつながりを創出する。



就労相談の様子

高齢者デジタルポイントの推進

★取組概要

健康アプリ（スマートフォンアプリ）のデジタルポイントを活用した健康づくりの取組を実施することで、高齢者が日常生活の中で気軽に介護予防や健康づくりを行うことができる。



健康アプリの歩数画面

がん検診等に係る分析及び検証

★取組概要

がん検診の結果やがんに関する医療データを用いて、発症要因や予防行動の傾向を分析し、その結果を市民に啓発することで検診受診を促し、早期発見・早期治療につなげるなど、がん対策を充実させる。



がんに関するデータ分析の実施



検診受診の様子

市立清水病院とJA静岡厚生連清水厚生病院の一体的運用

★取組概要

市立清水病院と清水厚生病院との一体的運用による医療資源の再編及び指定管理者制度の導入により、将来の医療需要の変化に対応した持続的な医療提供体制を確保することで、清水地域の住民がその容体に応じ、適時・適切な医療を将来にわたって持続的に受けることができる医療体制を構築する。



診療の様子



病床改修による利便性向上のイメージ

感染症発生動向調査及び情報発信の実施

★取組概要

市内の医療機関などから収集した情報を基に、発生した感染症の調査・検査を行うとともに、感染症の流行状況や予防・対策などの情報発信を行うことで、多様な感染症の発生予防・まん延防止を図る。



感染症検査の実施



動画での情報発信

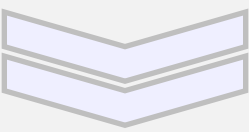
② 防災・消防・防犯

目指すべき未来像

激甚化・頻発化する風水害や南海トラフ地震などへの備えが整い、安全・安心に暮らすことができるまち

現状と課題

- ・静岡市では、2022年台風第15号により、大規模な浸水や広範囲の断水が発生し、市民生活に大きな影響が生じました。
- ・2024年台風第10号では、局地的な大雨により観測史上最大となる72時間で516mmの雨量を記録するなど、近年、風水害は激甚化・頻発化しています。
- ・2025年9月に国が南海トラフの地震活動の長期評価を改訂し、その発生確率が依然として高いことが示されました。南海トラフ地震は「いつ起きてもおかしくない」状況にあり、発生した場合には市民生活に甚大な被害が生じることが想定されます。
- ・自然災害から市民の命と暮らしを守るため、事前(予防・減災)・事中(応急対応)・事後(復旧・復興)の各段階においてハード・ソフト両面の対策を着実に進める必要があります。
- ・日常を脅かす火災への対応、複雑化する消費者トラブルや増加する特殊詐欺などの未然防止も課題となっています。



【課題解決のための具体的な取組】

巴川浸水情報システムによるリスク情報の提供

★取組概要

浸水被害が頻発している巴川流域において、現時刻から6時間先までの浸水状況を予測することで、早めの避難行動を促し、迅速な災害対応につなげる。また、現時刻の浸水状況を市民に公表している。



巴川浸水情報システムの画像
巴川浸水情報システム(現時刻)
(現時刻の浸水箇所を着色により表示)



木造住宅無料耐震診断の実施・木造住宅耐震補強事業補助金の交付

★取組概要

1981年5月末以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅について、無料耐震診断や耐震補強工事への補助を行うことで、耐震化を進めることにより、大規模地震発災時の住宅の倒壊による被害を防止する。



地震により倒壊した住宅の様子
出典：(一財)消防防災科学センター

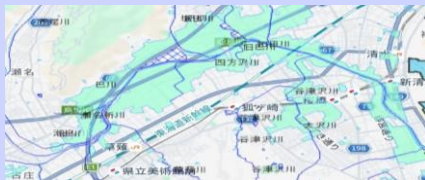


筋かいによる壁の補強例→

静岡市地理情報システム(しずマップ)による防災情報の提供

★取組概要

事前に避難所の位置や災害リスクなどの防災情報(過去の台風の浸水実績図(下図)、ハザードマップの情報)を確認することで、市民自らが適切な避難行動をとれるよう、しずマップにより、防災情報を提供している。



令和4年台風15号の浸水実績図(参考)

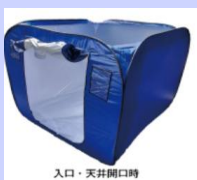
避難所の生活環境の確保

★取組概要

避難所で生活する避難者に必要な食料や災害用トイレ、資機材を備蓄することに加え、トイレカーを確保することにより、避難所の生活環境の向上を図る。



トイレカー



テント式パーティション
入口・天井開口時

個別避難計画の作成による地域での共助体制の強化

★取組概要

一人一人の避難経路や避難方法等を記載した個別避難計画の作成を進めることにより、災害時に地域の方々の手助けが必要な方が、より効果的な避難支援を受けられるようになる。



避難訓練の様子

救急車の適正利用の推進

★取組概要

市民に救急安心電話相談窓口「#7119」を周知し、認知度を高めることにより、市民が急な病気やけがの際に安心して相談できるとともに、救急車の適正利用が促進され、緊急性の高い方が迅速な救急対応を受けられるようになる。



#7119の紹介



救急フェアの様子

ドローンを活用した災害時における情報収集体制の強化

★取組概要

高解像度のカメラ等を備えた高性能ドローンを整備するとともに、操縦資格者を増員することで、変容する災害態様に対応できるよう情報収集体制を拡大し、市民の安全・安心を確保する。



情報収集訓練の様子



飛行するドローン機体

防犯意識の高揚

★取組概要

地域ぐるみの防犯活動やながら見守りを推進し、防犯意識の向上を図るとともに、犯罪被害者等からの相談を受け必要な支援を行うことで、犯罪が起こりにくく、誰もが安心して暮らせる地域となる。



清水エスパルスホームゲームでの防犯の呼びかけ



地域住民による見守り活動

消費生活センターの運営

★取組概要

複雑化する消費者トラブルに対応するための知識を身に付ける機会の提供により、トラブルの未然防止が図られる。トラブル時は、消費生活相談の実施により解決や再発防止の支援を受けることができる。



市消費生活センターイメージキャラクター「かいけつ!ハナミチ」



トラブル対策講座の様子

③こども・子育て

目指すべき未来像

温かい地域社会に支えられ、日本一安心してこどもを産み育てることができ、こども・若者が健やかに育つまち

現状と課題

- ・社会が急激に変化する中、子育て環境やこども・若者を取り巻く環境も大きく変化しています。
- ・仕事と育児の両立困難、核家族化の進行や地域コミュニティの希薄化による子育てにおける孤立感、子育て費用の増大、性別役割分業意識による生きづらさなど、若者世代や子育て世帯の悩みや不安は深刻です。
- ・貧困家庭のこどもや虐待を受けているこども、発達が気になるこどもなど、様々な困難を抱えるこどもも増えています。
- ・すべてのこどもが夢や希望を持って健やかに成長し、一人ひとりの若者が希望する人生設計が叶えられ、そして、保護者が不安なく子育てできるまちを実現していく必要があります。



【課題解決のための具体的な取組】

市立こども園と放課後児童クラブの運営

★取組概要

こども園や放課後児童クラブなどの預かり環境を充実することで、安心してこどもを預けることができ、保護者が希望する働き方を継続しながら子育てすることができる。



園児が遊具で遊ぶ様子

病児・病後児保育室の運営

★取組概要

病児・病後児保育室を運営することで、こどもが病気の際も安心して保育を利用することができ、保護者は仕事を続けながら子育てをすることができる。



病児・病後児保育の様子

子育て支援センターの設置・運営

★取組概要

子育て支援センターを運営することで、親子が安心して過ごせる場で保護者同士の交流や子育て相談ができ、子育ての不安や孤立感を軽減できる。



子育て支援センター内の様子

子ども医療費の助成

★取組概要

子ども医療費助成を実施することで、こどもの医療費に係る経済的負担が軽減され、安心して必要な医療を受けながら子育てすることができる。



こどもの受診の様子

学習支援の実施

★取組概要

学習支援を実施することで、家庭環境にかかわらず学ぶ機会が確保され、こども一人ひとりが安心して学びながら健やかに成長できるようになる。



学習支援の様子

5歳児健康診査の実施

★取組概要

5歳児健康診査を実施することで、こどもの発達や成長に応じた必要な支援につながり、一人ひとりが安心して、就学を迎えられるようになる。



5歳児健康診査の様子

結婚新生活応援パスポート

★取組概要

新婚夫婦等が協賛店舗で割引や特典サービスを受けられる「結婚新生活応援パスポート」を発行することで、結婚に伴う経済的負担を軽減しながら、新たな生活を始められるようになる。



プレコンセプションケアの普及促進

★取組概要

プレコンセプションケアを推進することで妊娠前から健康づくりや正しい知識を身に付け、将来の妊娠・出産や子育てを見据えて主体的にライフプランを考えられるようになる。



©こども家庭庁(はじめようプレコンセプションケア)

不妊治療費の助成

★取組概要

不妊治療費助成を実施することで、不妊治療に伴う経済的負担が軽減され、安心して治療に取り組みながら、こどもを持ちたいという希望をかなえられるようになる。



不妊治療相談の様子

④教育・人づくり

目指すべき未来像

多様な学びと地域の教育力を基盤として、すべての人の可能性が広がり、夢や希望が実現でき、心豊かに暮らすことができるまち

現状と課題

・これまでの教育や生涯学習に関する取組は、行政主体で「育成」や「支援」を行う視点が中心であり、教育面においては、こども一人ひとりの多様性を認め合うことや、個々に合わせた学びが十分に実践できていないという課題があります。価値観や個性、家庭環境などが多様化する中、こども自身の興味・関心や得意・不得意に応じて、学びたいことを自分に合ったやり方で学ぶことができる環境を充実させる必要があります。

・生涯学習面では、働き方や暮らしなどの多様化が進む社会においては、誰もが生涯にわたり、新たな知識や技能を獲得しながら学び続けられる環境づくりが不可欠です。こうした環境の充実は、地域社会や経済を支える人材の育成につながるとともに、一人ひとりの心の豊かさや幸福感を高めることにつながります。



【課題解決のための具体的な取組】

学習支援ツールの機能拡充・更新の実施

★取組概要

こどもの学習データを蓄積し、授業に活用することで、一人ひとりの理解度や学習状況、興味・関心に応じた指導が可能となり、こどもの個性を大切にした主体的な学びが実現される。



学習内容等を自分で選択し
取り組む様子

特別支援教育アセスメントの実施

★取組概要

学習のつまづきや集団生活に苦手があるこどもの行動背景を把握（アセスメント）し、具体的な支援計画作成をサポートするソフトを導入することで、どの子も安心して学校生活を送ることができる環境を整える。



学びの多様化学校の運営

★取組概要

不登校のこどもたち一人ひとりに寄り添った教育を実践する末広中学校分教室の活動を支援し、その実践を市内小中学校へ横展開することで、多様なこどもが安心して学びを継続できるようになる。



生徒が安心して過ごせる
憩いスペースや個人ブース席

教育相談員活用事業の実施

★取組概要

教室以外のこどもの居場所として校内サポートルームを設置し、教育相談員を配置することで、登校に困難を抱えるこどもたちが、安心して学び続けることができるようになる。



教室以外の児童生徒の居場所

保護者とのコミュニケーションツールの導入

★取組概要

家庭と学校間の連絡をスマートフォン等で行うことができる保護者連絡ツールを全市立小中学校で導入することで、保護者への個別連絡や緊急時の情報共有がしやすくなる。



個別連絡や緊急時の情報共有が可能な連絡ツール

フレキシブル担任制の実施

★取組概要

通常学級数が8～9学級の小学校に臨時講師を配置し、複数の教員がチームで学級を見ることで、担任業務を分担し、こどもを複数の教員の目で多面的に理解し、支援できるようになる。



フレキシブル担任制の様子

地域学校協働活動の推進

★取組概要

学校応援団活動や放課後子ども教室など、地域の大人が学校や地域でこどもの学びや活動を支える取組を充実させることで、こどもが地域の人々と関わり、見守られながら、多様な学びや体験を得られるようになる。



学習支援や交流機会の様子

しずおか地域クラブの実施

★取組概要

市民や民間企業・団体と連携し、中学生の部活動に替わる活動の場として地域クラブ活動を展開することで、多様な学びや体験の機会を創出する。将来的には、世代を超えて地域の人々が参画できる新しい持続可能な仕組みができる。



地域の方が指導者として地域クラブ活動に参画

「静岡シチズンシップこ・こ・に」の推進

★取組概要

地域や社会で活動するために求められる知識や技能、技術を習得できる講座を提供することで、誰もが生涯にわたり学び続けることができ、社会の変化に適応した豊かな人生を送ることができるようになる。



「こ・こ・に」での講義やグループワーク

⑤経済・産業

目指すべき未来像

地域の「稼ぐ力」が高く、魅力ある雇用があり、所得が高く、やりたい仕事でいきいきと働くことができるまち

現状と課題

- ・静岡市は大学や専門学校などの学生数が多いことが強みです。しかし、企業用地やオフィスの供給不足のため、企業の新規立地など産業の新陳代謝が停滞したことで、若年層への雇用創出が少なく、学生の市外流出が続いています。
- ・地域の「稼ぐ力」を高めるためには、企業誘致やスタートアップ支援、共創によるイノベーション創出、海洋など地域特性を活かした産業振興が欠かせません。労働力人口減少に対応し、多様な人材が働きやすい環境整備やDX推進による効率化を図ることも必要です。
- ・社会経済の変化に伴う商業環境の変化に対応し、中心市街地「おまち」の価値をこれからの時代に対応した形で高めるため、「職・住・福・商・学・遊」が近接するまちづくりを進めることが重要です。
- ・農業・水産業では担い手不足や高齢化が課題であり、有機農業や資源管理を進め、収益性を高める取組が必要です。



【課題解決のための具体的な取組】

デジタル関連企業の誘致

★取組概要

若者の流出を抑制する解決策として、若者から人気の高いゲームやアニメといったデジタルエンタテインメント企業を主なターゲットとして、首都圏等からのデジタル関連企業の誘致に取り組む。



静岡市視察ツアーを実施



東京ゲームショウ2025ハブスを出展

企業立地促進事業補助金の交付

★取組概要

工場等の新設・増設や事務所等を賃借する経費を補助することにより、企業の市内への進出及び定着を促進する。



補助金を活用した工場新設

企業用地開発の推進

★取組概要

耕作放棄地などの未利用・低利用地を集約し企業用地に転換していくことにより、新規企業立地や既存工場の移転・拡充の受け皿となる土地を確保する。



未利用・低利用な用地



企業立地予定地造成の様子

スタートアップとの共創による社会課題解決の促進

★取組概要

革新的な技術やビジネスモデルを有するスタートアップと行政・地域団体等との共創を促進する「知・地域共創コンテスト」の実施などにより、静岡市が抱える複雑化・多様化した社会課題の解決につなげる。



2024年度「知・地域共創コンテスト」の実施状況



中心市街地活性化推進事業への補助金の交付

★取組概要

中心市街地活性化基本計画の進捗管理を行う協議会の運営や、まちなかでのイベント開催、調査活動等を支援し、市民が気軽にまちなかを訪れ、買い物や飲食、交流などを楽しみながら時間を過ごせる環境をつくる。



中心市街地のひとつ「けやき通り（葵区）」



協議会実施のスタンプラリーチラシ

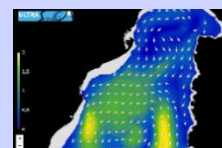
駿河湾・海洋DX先端拠点化計画の推進

★取組概要

清水港・駿河湾の海洋環境と、研究・教育機関、企業等が集積する地域の強みを活かして、DXを活用した海洋の先端研究開発と人材育成を進め、海洋関連産業の発展と雇用の拡大を図る。



清水港



デジタル技術で駿河湾の海況を見える化・予測

静岡市社会変革(BX)の推進

★取組概要

静岡市を実証フィールドとして、海洋分野の新技术やサービスの社会実装に挑戦する企業を出資と伴走型支援で支え、地域課題の解決や産業競争力を強化することで、海洋関連産業を発展させる。



清水港での水中ドローンの実証実験



人工海藻による漁場造成の実証実験

静岡型食と農システム推進事業

★取組概要

中央卸売市場の老朽化への対応や学校給食の運営効率化等の課題を解決するため、地域の生産・加工・流通・消費を一体的につなぐシステムを構築し、市民の生活に欠かせない「安全・安心で安定した食の供給」を持続可能なものとしていく。



静岡市中央卸売市場における競りの様子



学校給食センターにおける調理風景

有機農業の推進

★取組概要

実証ほ場の運用や量販店との連携、イベントでの周知を通じ、有機農業を一体的に推進する。また、循環型農業の実現に向け、低・未利用資源を活用した肥料製造に取り組む。これらの取組を通して、農業の環境負荷低減と収益性の向上を目指す。



葵区桂山での有機農作物の実証栽培



有機農法で栽培したニンジン

⑥観光・スポーツ・文化

目指すべき未来像

食、スポーツ、芸術、歴史など多様な文化で人々の心が豊かになるまち、来訪者の増加を通じて地域経済が潤っているまち

現状と課題

・これまでも静岡市は、食、スポーツ、芸術、歴史等の多様な文化資源を活用したまちづくりを進め、観光振興、スポーツ振興、文化芸術活動の支援、文化財の保存等に取り組んできました。

・これらの世界に誇れる文化資源を有しながらも、観光振興による地域経済活性化の視点が十分とは言えず、一人当たりの観光消費額や外国人旅行客数が少ない状況にあります。スポーツにおいては、これまでの健康増進の効果に加え、産業やビジネスによる地域活性化の効果を最大限活用する必要があります。文化芸術では、文化に触れる機会や文化を通じた交流の場はあるものの、より気軽に参加する機会の充実が求められています。また、文化財は、少子高齢化による担い手不足や文化財への関心の低下などにより保存・継承が困難となっており、文化財の劣化や滅失が進行しています。

・こうした課題を解決し、観光・スポーツ・文化を通じて、人々が心豊かになるようにするとともに、新たなビジネスの創出や市内への来訪者の増加により、地域経済を活性化することが求められます。



【課題解決のための具体的な取組】

ガストロノミーツーリズムの推進

★取組概要

南アルプスから駿河湾までの標高差6,000mの自然に育まれた豊かな食材を活かし、「JIMI（滋味、地の味）ガストロノミーシズオカ」ツーリズムを推進する。来訪者がその背景にある歴史や人に触れ、食体験を楽しめる取組で観光誘客と周遊促進につなげる。



静岡市ならではの食体験



井川地区の在来蕎麦

お堀の水辺(葵舟)活用事業

★取組概要

駿府城公園・二ノ丸堀において、民間の企画力・経営能力等を活かした遊覧船「葵舟」の運航を支援し、駿府城公園周辺エリアの魅力向上と誘客を図ることで、観光客の滞在時間延伸と観光消費額を高めていく。



異櫓と葵舟



水縁祭の実施

街道を軸とした広域観光の推進 (東海道53次・57次)

★取組概要

日本遺産に認定されている静岡市、藤枝市の「二峠八宿」の豊富な歴史資源や、絶景、特産品、人々との交流を楽しめる場を提供する。東海道57次沿いの自治体と連携し「東海道」という大きな観光資源を活かして、誘客と周遊促進を進めていく。



薩埵峠



宇津ノ谷地区

久能山周辺の 観光地域づくりの推進

★取組概要

久能山下地域を歴史的風致維持向上計画の重点地域に位置づけ、地域資源を生かした景観形成や回遊・滞留環境の充実を図る。これにより地域の歴史や文化に触れ、親しむことのできる環境を整えるとともに、地域事業者の販売機会や新たな雇用・事業機会の創出につなげる。



久能山東照宮



石垣いちご

ユニバーサルスポーツ 聖地化の推進

★取組概要

民間事業者と共創し、人材育成、スポーツ教室、体験会等に取り組むことにより、誰もがスポーツに親しめる機会を充実させるとともに、大会や教室、合宿の定着を通じて、多様な人々の交流機会を創出し、スポーツを活かしたまちづくりを推進する。



ウォーキングフットボール



フライングディスク

ホームタウンチームの 活用推進

★取組概要

ホームタウンチームと連携して地域課題の解決に取り組み、チームを身近に感じる機会を増やすことで、応援機運の醸成や、スポーツ観戦人口を拡大し、地域経済の活性化につなげる。



ホームタウンチーム
キャリア教育授業



ホームタウンチーム合同
スポーツ体験教室

文化芸術に親しむまちづくりの推進

★取組概要

市内で活躍するプロの交響楽団と連携し、オープンスペースや商業施設でのまちかどコンサートや、こども園・学校へのアウトリーチ等を開催することで、日常的に文化芸術に親しむ機会を充実させる。



まちかどコンサート
(静岡駅北口地下広場)



学校訪問コンサート

文化事業への市民参画の推進

★取組概要

静岡まつりや大道芸ワールドカップなどの大型文化事業は、多くの市民・企業が参画し実施している。文化事業を通じて、多分野に渡る課題の解決に向け更なる参画を推進していく。



大道芸ワールドカップ



静岡まつり

文化財を活かした蒲原地域の まちづくり検討

★取組概要

蒲原地域において、地域住民や事業者と連携して地域の将来像や文化財の活用方法を話し合い、具体的に取り組むことで、地域への愛着や誇りを深め、宿場のまちなみを未来へつなぐ。



蒲原地区の文化財建造物
(左・志田邸 右・旧五十嵐歯科医院)



⑦都市・社会基盤

目指すべき未来像

都市基盤と多様な都市サービスが連動し、誰もが住みやすく、移動しやすく、居心地の良い空間が備わったまち

現状と課題

・静岡市では、地域の経済的活力を高めるために必要な土地利用に関する規制緩和の取組が十分に行われてきませんでした。このため、耕作放棄地などの未利用・低利用地が多く、多くの地域で点在する状況となっています。また、都心部では建物の老朽化や空き店舗の増加が進み、まちの魅力が低下する一因となっています。

・人口減少に伴い空き家が増加しており、今後も増加が見込まれます。静岡市は周辺市町と比べ、家賃や土地価格が高いため、若い世代の住まい確保が難しく、定住の課題となっています。また、移動需要の減少に加え、生産年齢人口の減少に伴う担い手不足により、路線バスなど中量輸送を担う公共交通の維持が困難となっています。持続可能性と利便性を両立させた、新たな地域公共交通体系の構築が急務です。

・防災面では、南海トラフ地震や激甚化・頻発化する自然災害へ対応するため、道路・河川・上下水道などの社会基盤整備と災害時の情報収集・提供や応急対応資機材の備えなどの体制強化が課題となっています。公共インフラの老朽化による維持管理コストの増大も大きな課題となっています。



【課題解決のための具体的な取組】

東静岡地区市有地の民間活用

★取組概要

東静岡地区市有地において、静岡市アリーナとJR東静岡駅を結ぶペDESTリアンデッキを民間施設と一体整備することで、通行機能だけでなく、東静岡のまちづくりに取り組む民間事業者による多様なサービスを提供する。



SAGAサンライズパーク
(ペDESTリアンデッキとの一体施設)



ペDESTリアンデッキと民間施設の
一体整備イメージ

医療福祉AIオンデマンド 地域交通の実証

★取組概要

東静岡地区において、企業協賛型の新たなAIオンデマンド地域交通を導入することで、誰もが安全かつ快適に移動できるとともに、医療・福祉サービスをより利用しやすくなる。



AIオンデマンド交通

清水都心地区のエリア マネジメント支援

★取組概要

清水都心において、住民主体のまちづくり活動が生まれる体制づくりを支援することで、魅力的で多様な活動や居心地の良い空間が生まれ、若い世代が「暮らしたい・遊びたい」と思えるようになる。



灯りを使った空間づくりの様子



美濃輪稲荷神社での
マルシェの様子

由比・蒲原地区の まちづくりの推進

★取組概要

由比・蒲原地区において、地域資源を活かして住民や企業と連携した取組を進めることで、「自然・食・歴史・文化」を、生かした仕事や体験をまちなかで楽しめ、市民や来訪者が心豊かな暮らしや多様な交流を実感できる。



国登録有形文化財「旧和泉屋」



「由比本陣公園」

静岡都心地区 まちなか再生の推進

★取組概要

静岡都心地区において、めざすべき姿を「まちなか再生指針」により共有し、公民共創による職・住・福・商・学・遊といった機能が身近に揃う、一体的なまちづくりを進めることで、まちなかの利便性や暮らしの質を向上させる。



青葉シンボルロード実証実験の様子



青葉シンボルロードの将来像(イメージ)

宮川・水上地区都市再生 整備計画の策定

★取組概要

土地区画整理事業で整備された公園や調整池などの公共施設を有効活用し、民間主体のエリアマネジメントにより、交流機会の拡大、良好な住環境の維持・向上を図りながら、持続的で魅力あるまちづくりを進めていきます。



都市再生整備計画区域(宮川・水上)



公園イメージ-恩田原山公園

草薙駅周辺地区の まちなか交流の促進

★取組概要

草薙駅周辺地区において、エリアマネジメント団体や地域おこし協力隊と連携し多様な主体を支援することで、誰もが気軽に集える居場所で住民や学生、企業等が交流を広げ、快適で暮らしやすい環境を身近に実感できる。



コミュニティ拠点「Takki」



JR草薙駅南口の将来像

新幹線高架下の活用

★取組概要

草薙駅北口の新幹線高架下において、エリアマネジメント団体や自治会、企業等と連携し魅力的な交流事業を展開することで、誰もが気軽に集える場をつくり、住民や来街者が多様な体験を楽しみながら、日々の豊かさを実感できる。



地域・企業等と連携して創出した空間「よりみちSTREET」



北口広場・高架下を活用したイベントの様子

巴川浸水情報システムによるリスク情報の提供

★取組概要

浸水被害が頻発している巴川流域において、現時刻から6時間先までの浸水状況を予測することで、早めの避難行動を促し、迅速な災害対応につなげる。また、現時刻の浸水状況を市民に公表している。



巴川浸水情報システムの画像
(現時刻の浸水箇所を着色により表示)



巴川浸水情報システム

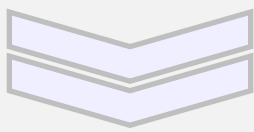
⑧環境・森林

目指すべき未来像

人が自然とともに生き地域の暮らしや文化を守りながら魅力を育み、脱炭素社会の実現と経済の活性化が両立した持続可能なまち

現状と課題

- ・温暖化による災害の激甚化が進む中、2050年カーボンニュートラルは、従来型の取組では達成できません。カーボンニュートラルの実現には、徹底した省エネや再生可能エネルギーの普及、資源循環を革新的技術で加速することで環境と経済の両立を図るグリーントランスフォーメーションが不可欠です。
- ・人口減少が進む中山間地「オクシズ」では、自然と共生する暮らしや文化が残る一方、担い手不足や高齢化による地域の活力低下が課題です。自然や文化などの地域資源が「オクシズの魅力」として広く認知され、地域資源を活かした暮らしを守りながら、人が集まる仕組みづくりが必要です。
- ・市域の約76%を占める森林では荒廃が進み、災害リスクの増大に加え、生態系の劣化、水源涵養機能の低下、土壌流出、地域経済や景観への悪影響など、複数の問題が相互に関連し、深刻化するおそれがあります。木材供給に加え、山地災害防止や水源涵養など公益的機能を重視した管理が求められます。



【課題解決のための具体的な取組】

地球温暖化対策の推進

★取組概要

市民・事業者に対し、民間企業等と連携して省エネの実践方法や省エネ性能の高い建築物の情報発信を行う。事業者に対し、コスト削減等の脱炭素行動によるメリットを具体的事例とともに情報提供する。



省エネ家電のPR



産学官連携
脱炭素経営セミナー

脱炭素先行地域をはじめとした 再エネ設備の導入

★取組概要

脱炭素先行地域に選定を受けた市内3エリアへ、国交付金を活用して太陽光発電設備等を導入し、2030年度までに整備する。温室効果ガス削減に加えレジリエンス強化など地域の魅力向上に繋がる取組。



脱炭素先行地域
(清水駅東口エリア)



脱炭素先行地域
(日の出エリア)

環境林・循環林の整備

★取組概要

市内森林を環境林と循環林に区分し、木材生産に適した森林は間伐や再造林を進め、地域材を持続的に活用する。木材生産に適さない森林は環境林として整備し、災害に強く、水や生き物を育む森林を創り、安全・安心で豊かな市民生活を守る。



環境林の目指す姿



循環林での木材生産

プラスチックごみ分別回収の 全面実施

★取組概要

プラスチックごみを分別回収し、資源として活用することで、焼却ごみを減らし、プラスチックを製品等の原料として循環させます。市民が分別することで、身近なプラスチックをごみとして捨てるのではなく、資源として次の製品につなげられる仕組みを構築する。



プラスチックごみの分別



ごみ回収の様子

共創による南アルプス保全・ 利活用の推進

★取組概要

市民、地域団体、民間事業者と連携した保全プログラム（植樹活動、防鹿柵設置等）や情報発信を実施することで共働の輪を広げ、南アルプスの豊かな自然環境を将来へ守り継ぐ。



植樹活動



防鹿柵設置

南アルプスユネスコエコパーク ミュージアムを拠点とした自然 体験・食体験の提供

★取組概要

ミュージアムを拠点に南アルプスや井川地域の魅力を体験できるコンテンツを造成することで、地域内外の交流を促進するとともに、地域経済の好循環を生み出す。



ミュージアム外観



蕎麦打ち体験

静岡市ネイチャーポジティブの推進

★取組概要

損なわれた自然を保全するだけでなく、回復させ、豊かにしていくというネイチャーポジティブ（自然再興）に貢献する取組を実施することで、自然と共生する社会の実現と経済成長を目指す。



純系ヤマトイワナ



南アルプスの風景

地域おこし協力隊の活用

★取組概要

地域おこし協力隊を導入し、地域の活動を支援するとともに、移住者として地域へ定着することを支援する。新しい仲間が加わることで、将来も安心して暮らせる活気ある地域づくりが進む。



アマゴの養殖をする
協力隊員



耕作体験の提供

オクシズ各地域ビジョンの策定

★取組概要

オクシズの各地域に点在する資源を統合的に活用・発信していく。自分たちの地域にある魅力の価値が再評価され、誇りや愛着が深まる。



廃止施設の活用
(井川湖畔遊歩道)



在来野菜の販売

⑨ 行政経営

目指すべき未来像

仕事の効率化と執行体制の最適化により、社会課題の解決力が高く、行政効率の良い市政運営が行われており、社会の力が活用され、市民が安定的に質の高い行政サービスが受けられるまち

現状と課題

- ・人口減少社会においては、これまで以上に地域行政の力が問われています。他の政令市よりも人口減少が著しい状況にある静岡市では、生産年齢人口・税収の縮小が行政経営に深刻な影響を与えることが予想されることから、より一層高度な行政経営を進めていく必要があります。
- ・これまでの市政運営においては、社会全体の力を経営資源とし、社会全体の便益を最大化するための取組が十分に進んでいません。民有の土地や建物も「社会共有資産」に含めて捉え、有効活用していくことが必要です。
- ・組織・人員、情報といった市の経営資源の効率的かつ効果的な活用も課題です。市民サービス向上と職員負担軽減に向けた業務の見直しは十分とは言えず、複雑化する行政課題に対応するための組織体制と人材育成も課題となっています。
- ・人口減少により中長期的に税収規模が縮小していく中、歳入を増やすための取組が十分に進んでいません。



【課題解決のための具体的な取組】

公共施設の配置適正化

★取組概要

人口減少や施設の老朽化を見据え、地域ごとの使われ方や将来の需要に応じて、施設の配置、機能、規模を見直すことで、必要な行政サービスを持続的に利用できるようになる。



行政サービス・機能を集約した複合施設の整備イメージ

公共資産活用の推進

★取組概要

市有資産の貸付、売却に関し民間事業者の提案を募り、役割を終えた市有施設や遊休市有地の積極的な民間活用を促進することで、財源を確保するとともに、市民の利便性等が高まる。



資産活用事例：オクシズパーク（旧清水西河内小学校）

民間資産の活用

★取組概要

生前・遺贈寄附により寄附された不動産を市が改修し、子育て世帯への貸し付け等に活用する。このほか、民間の低未利用資産を有効活用した、企業用地の確保や農地の集約化を進める。

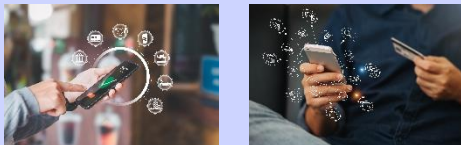


企業誘致のイメージ

行政手続のオンライン化

★取組概要

行政手続のオンライン化を推進することにより、時間や場所にとらわれず必要な手続を行えるとともに、来庁や待ち時間の負担が軽減され、誰もが便利に行政サービスを利用できるようになる。



いつでもどこでも行えるオンライン申請

統合データ基盤の活用

★取組概要

統合データ基盤を活用し、情報を複数の手続で連携できるようにすることにより、暮らしの節目に必要な手続をまとめて行えるとともに、同じ情報を何度も記入・提出する手間が減り、少ない負担で手続を終えられるようになる。



ライフイベントに応じた手続をワンストップで提供

データの連携・活用を支える統合データ基盤

社会情勢の変化を踏まえた区役所機能の強化

★取組概要

区役所業務における事務フローの見直しにより、ワンストップ窓口の開設や、書かない窓口の導入など窓口業務変革を進めることで、手続きの煩雑さが軽減され、区役所が利用しやすくなる。



ワンストップ窓口のイメージ

職員の政策執行力強化

★取組概要

実践的理解に向けたプロジェクトマネジメント研修やオンラインによる専門力向上研修を実施することにより、職員の政策執行力や専門性が高まり、より質の高い行政サービスが受けられるようになる。



職員研修の様子

市民に寄り添う広聴・広報

★取組概要

市民の声やニーズを市政に生かし、相手に合わせた媒体や伝え方で情報を届け、相談から手続までを分かりやすく案内する。必要な情報やサービスを円滑に得られる環境を整えることで、市民の利便性と安心感が高まる。



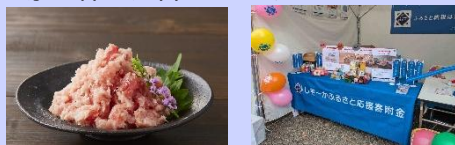
市政への意見を投函する様子

相手に合わせた広報媒体

ふるさと寄附金制度の推進

★取組概要

寄附金使途メニューの充実や返礼品のプロモーションなど、寄附者に対するアプローチを強化し、寄附額増加を目指す。寄附金などの財源により施設整備や企業誘致など投資事業への支出を行うことで、利便性が向上し、働く場も増え、暮らしやすいまちになる。



人気の返礼品（ネギトロ）

イベントでのPR